

## 個人旅行参加条件と注意事項

### 1) 自己責任

日本の旅行社が介在せず、現地旅行社が実施する個人旅行です。そのため現地費用が大幅に安くなる半面、すべてが参加者個人の自己責任となります。最終的には自己責任ですが、必要時にはお互いに助け合って解決しましょう。

### 2) 募集

個人旅行の条件を受け入れていただける方 1~3 名募集します。現在私を含めて 2 名で、催行は決定しています。

### 3) 現地旅行代理店 Essendilène Voyages

<https://essendilene-voyages.com/Essendilene/accueilen.html#top>

信頼できる代理店で、私が過去のツアーや個人旅行でお世話になった会社です。オーナーの Abdou Borgi 氏はトゥアレグ族アジェール部族のアメノカル（部族長）で、地元で信頼を得ている人物です。ローカル・クルーとのコミュニケーションはフランス語を話すコックを通して行います。ガイドは、写真家野町和嘉氏を案内した経験を持つベテランの予定です。コックもパリに出れば星を狙えるのではないかと思われるほどの腕前の料理人を予定しています。

### 4) 観光ビザ

過去のアルジェリアの観光ビザ取得は大変でした。旅行の 2か月近く前に申請しても間に合わないケースも出るほどでした。ところが、アルジェリア政府が南部砂漠地帯の観光を推進するようになり、到着地（アルジェや目的地のジャネット）で南部旅行者に発行される観光ビザが 2 年前より導入されています。現地代理店が申請した入国許可証が 2 週間程度で届きます。

### 5) 費用

個人旅行として各人が費用を支払います。参加者全員が平等に費用を負担します。

Emirates KIX/NRT - Algiers 現在 27 万円程度

Air Algerie Algiers - Djanet 往復 3.3 万円程度

ビザ（アルジェで発行） 80 ヨーロ

現地旅行費用 1,250 ヨーロ（3 人の場合の一人分、人数が増えれば料金は下がります）

チップは、ガイド、コック、ロバ引き、運転手へ総額で 100 ヨーロ程度。

### 6) 安全リスク

日本政府はレベル 3 で「渡航中止勧告」ですが、フランス政府は「不要不急の旅行中止」、イギリス政府は「通常旅行地域」と国によってガイドラインが大きく異なります。日本政府は、2013 年のテロ事件以降外務省が南部地域をレベル 3 としていますが、アルジェリア政府は軍隊の駐留を大幅に増やして国境警備を強化し、この 10 年間テロ事件や誘拐事件などはまったく発生していま

せん。日本政府のガイドラインには改善された状況が反映されていません。また、アルジェリア政府は南部観光を推進しており、到着地ビザやタッシリ台地での軍ヘリコプターによる緊急傷病対応（無料）などの支援も行っています。これらの点から旅行に不安はなく、イギリス政府のガイドラインが妥当と思われます。また、複数の日本の旅行社がツアーを行っている地域です。一方で、事故・疾病リスクもありますので旅行保険の付保をお勧めします。

#### 7) 気温

台地上は標高 1700m 程度ですので、夜には零下になることもあります。防寒用のダウンなど必要です。日中は 20 度を超える寒暖差があります。寝袋はマイナス 5°C 程度対応のものを推奨。そこまでの性能のない場合は、ダウンやヒートテックなど着込んで寝ます。毛布を借りることもできますが、清潔とは言えません（毛布はロバに荷物を載せるための鞍代わりに使用します）。

#### 8) 徒歩

現地 2 日目に山登りで、標高差 700m を登ります。登山路は整備されており比較的歩きやすいです。その後は平たんで歩きやすい礫砂漠。1 日 15-20km 歩きます。履きなれたトレッキングシューズと特に高齢者にはトレッキング・ポールが推奨されます。私は 73 歳になり、かなり体力が衰え、歩くスピードが遅くなりました。遅いペースにお付き合いいただける方を希望します。

#### 9) キャンプ

自前のテントがない場合オプションでレンタル可。マットレスは貸与されます。

キャンプ地に着くと、三杯のお茶が疲れを癒してくれます。一杯目は人生のように苦く、二杯目は恋のように甘く、三杯目は最後の吐息のように軽く。コックの作る料理は、とても美味しい日本人の口に合う料理です。食事が心配な方は、アルファ米やフリーズドライの味噌汁など少し持参されるのも良いです。

#### 10) 水

ジャネットの井戸水（悠久の化石水です！）。ミネラルウォーターを生産する Ifri の隣にあり、同質の美味しい安全な水です。しかし、旅の後半には、台地上の溜り水になる場合があります。これに備えて、Katadyn カタダイン 非常用 済水タブレット Micropur を準備します。一人 3000 円程度の負担です。これを使わなくて済むように、水を節約して飲み水を確保します。火を通す料理やお茶、洗面用の水は溜り水となります。

#### 11) 持参品

スーツケースとは別にボストンバッグなど車輪のないソフトケースが必要です。台地上を歩く期間、必要な荷物をロバに積み込むためです。他の必需品、推奨品については別途リストをお渡します。

英 隆行